

にいがた県民教育研究所設立宣言

わたくしたちが当面している最重要課題のひとつは、政府主導の「臨教審」教育改革に対して、真に民主的で人間味のある国民的な教育改革とはなにかを、下からの討議や運動をつみ重ねながら明らかにすることである。

そのためには、まず新潟県という地域に密着した教育課題や要求とはなにかを明らかにすることから始めなければならぬ。

わたくしたちは、研究所の設立準備を通じて、県民の教育要求が実に切実で多様であることを知った。子ども、青年たちが、悪化する教育環境のなかでますます人間らしい発達をおびやかされていることを、一層深刻に受けとめるようになった。また実に多様な職種、階層の県民が教育に関心をよせ、実際に教育に関わって活動していることを知った。

わたくしたちは、いまは一見迂遠のように見えても、新潟県の教育や教育運動についての基礎的な研究や、資

料の収集、公開などを通じて、教育や教育運動を教育科学を含む諸科学の成果の上に成り立たせることが、一番必要なことではないかと感じた。またそうすることによって、新潟県民の英知を結集できれば、新潟県の教育のためだけでなく、それがそのまま日本の教育の民主的改革の基礎になることは明らかである。

当研究所はそれらの諸課題をなしとげるためには、いかにも微力である。しかし大河にも濫觴があるように、いまは小さなせせらぎでも、多くの県民、あらゆる教育関係機関などと協力し、指導と援助をおおぎながら、光栄ある任務を果たしたいと思う。

右 宣言する。

一九八四年十二月二日

にいがた県民教育研究所設立総会